

各課の構成と基本的な進め方

事前に準備すると便利なもの（カード類別売り）

各課の新出語彙のフラッシュカード（表 ローマ字またはかな、裏 英語訳）

形容詞・動詞リスト(P279-325)の語彙フラッシュカード（同上）

に付随する絵カード

サブドリル 内蔵ドリルでカバーしていない部分の練習。余裕のある人や自習用に。

* 希望者は無料でダウンロード可能。

リスニング CD を携帯デバイスに録音。

* 各課のキーセンテンスと例文を収録。すべて対訳（英語）付き。

各課の構成と基本的な進め方

とびら その課で何を学ぶのか、ポイントは何かを知る

学生が音読。教師とともに内容を確認。

) キーセンテンス（重要文型。文法の目玉）

We will learn these expressions in this lesson.

) キー（重要文法。特に英語と比較して異なるもの。わかりにくいもの）

Here are keys of this lesson.

) 助詞（新出の助詞機能）

A marker is a grammatical element. It marks or shows how a noun functions in a sentence. Each noun is followed by a marker except for one which is at the end with desu. Here are markers we will learn in this lesson.

) 実用目標（課の学習終了後、実生活の中でできるようになること）

After learning this lesson, you will be able to do these things in Japanese.

語彙と表現 新出語彙と表現の確認

できれば自主学習で意味を覚えてきてもらい、レッスンではフラッシュカードで意味確認。それができない人は、レッスン中に音読から始める。

語彙の量が多いときは、一度に全部覚えなくてもよい。必要のあるもの、興味のあるものからで OK と励ます。

各課の練習に有用な基本形容詞・動詞は、リストとして巻末にまとめてある。これらの語彙については、各レッスンの初めに、毎回フラッシュカードで意味確認を行う。

文法説明 新出文法事項の理解

教師が重要事項を板書。口頭（必要に応じて英語）でポイントを説明。学生の理解度を知るために、簡単な QA 練習や短文づくり練習などをやってみる。

学生が教科書の文法説明及び例文音読。

適宜、文法事項にあわせて以下の内容を盛り込む。

各課の構成と基本的な進め方

- ・カードによる活用変換練習。(形容詞、動詞)
- ・教科書ドリル、サブドリルの中で、学習項目に合った部分を随時活用する。

助詞機能説明 新出助詞機能の理解

学生が説明文及び例文を音読。

ひとつの助詞に複数の機能があることを実感させるために、「助詞インデックス」(p341-342)で既習項目をチェックしていくのもよい。

例文 語彙、文法、助詞の総確認として活用

音読して意味確認。

次回のレッスンでは、教科書を見ないでリスニングしてみる。英訳を聞き、正しく意味がとれているかどうかを確認する。

ドリル 実践練習

文法事項に連動して随時進め、残っているものがあれば最後にまとめとして扱う。

とびら

最後にとびらに戻り、実践目標が到達できたかどうか確認する。

各課の進め方の具体例

1 課 (3 時間) 最重要課題 助詞の重要性、特に話題の「は」の機能について理解する

KEYS 1 動詞または形容詞(= 述語) は、文末にくる。

時制と肯否定は、文の最後の語が発せられたとき、初めて明らかになる。

2 「話題 + は」は、文頭に置かれる。

「話題」とは、話者がこれから何を話そうとしているのかを表すもの。

3 私は(私が + 動詞 / 形容詞)

「話題」と「主語」がともに「私」または「あなた」であることが明らかなき、どちらも発話の中に現れない。

4 場面・情景は、〔主語 + 動詞 / 形容詞〕の形で表す。

話者の眼前の場面や情景を伝えるとき、「話題」は必要ない。

* とびら 1 課の構成は特殊なので、ひととおり読んでも理解が難しい。キーや助詞は、本文で学習後、再度戻ることを説明。

* 「述語 = predicate」は、英語にはない概念なので、英語ネイティブでもわかりにくい。便宜上、「動詞 = verb」を「述語」の代わりに使い、形容詞も述語になることを学んだのちには、「述語」の代わりに「verb or adjective」という用語を用いて説明する。

1 あいさつ (P10) 絵、語彙カード用意

As for Japanese greetings, there are three different levels of politeness according to the person you talk to or the situation you are in. The casual style is used when talking with your friends or family. The general style is not too casual and polite enough to use in general settings such as conversation with your neighbors, colleagues and people whom you are somewhat acquainted with.

Japanese people use the polite style in a formal situation or business setting.

日本語には「カジュアル」「一般」「丁寧」のスピーチレベルがあることを説明し、まずどのレベルから学習したいか、学習者に選んでもらう。(余裕がある人は全部併行して扱ってもよいが、一度に覚えるのが大変な人の場合、無理にやる必要はない)

* ここで言う「カジュアル」「一般」「丁寧」は、それぞれ日本語文法用語で言うと、「普通体」「丁寧体」「敬語」にあたる。「一般」が「丁寧体」にあたるので、2 課以降、混乱しないように注意。

教師音読、学生リピート。その後、語彙カードや絵カードを使って表現を言う練習。

学習者の生活環境を考慮し、不要なものは省いてよい。

2 日常表現 (P12)

Here are useful expressions you can frequently use in daily life.

各課の進め方の具体例

表現として扱うので、細かい文法説明不要。しかし、疑問に思い、知りたがる学生のために、あらかじめ答えを準備しておく必要はある。(例:「日本語で」の「で」は何ですか?)

- ・ 2 We usually don't say *anata* (= *you*) in Japanese. Please say 'surname + san' instead.
- ・ 6,7 *Ka* at the end turns the sentence into a question. You don't need to change other words' order. -*Masen* represents negative.

教師音読、学生リピート。その後、下線部の代入練習。

場面を設定して、当該表現を言わせるロールプレイ。

(例: 4 教師がとても早口で自己紹介し、4を言わせる)

(例: 5 手近にあるものをどんどん指差し、英語と日本語の単語を言い合う練習。母語が英語以外なら、その言語でどう言うかを聞く練習も楽しい)

3 お役立ち会話 (P13) ピザ屋やカフェのメニュー用意

Here are settings you frequently encounter in daily life. Typical dialogues are introduced here as examples. It's hard to make a full sentence at first. Let's try to memorize a couple of key words. For example, *migi*, *hidari*, *shingoo* and such.

音読。二重下線部代入練習。

* タクシー運転手や店員の部分は、聞いてわかればよいので、学生がこれらのパートを練習する必要はない。

I will read the driver / shop clerk's part and please repeat your part.

「ください」と「お願いします」の違いを読んで、理解する。

4 日英構文比較 (P15) 構文各要素のカード用意

Let's read through on Japanese sentence structure.

日本文と英文を板書。呼応する部分を色で示すなどの工夫を。説明は学生が音読。

日本文は、まず「話題」から始まることを理解させる。

* 形容詞が活用することを印象づけるため、ここでは「い形容詞」のみの扱い。「です」が *be* 動詞に呼応していないことを理解させる。

動詞文では、語順(目的語+動詞)に着目させる。また、いずれの場合も述語が文末にきていることを理解させる。

英語にはない「助詞」が重要な役目を果たしていることを理解させる。

構文を確認しながら、各要素のカードを並べるドリル。

Please put these cards in an appropriate order.

topic wa subject ga noun desu

2課 (3時間) 最重要課題 「です」で終わる文の肯定否定、疑問文の形を理解する

KEYS 5 日本語には普通体と丁寧体がある。

話し方は、状況と、誰に対して話すかによって選ばれる。

We need to remember that Japanese basically has two speech styles, plain and polite. In this lesson, we stick with only the polite style, since it can be used in any general situations.

* 1課のあいさつで学習した3レベル(casual, general, polite)を覚えていて質問が出たら、ここからは casual = plain, general polite, polite super polite と呼ぶことを説明。super polite は今のところ不要なので、まずは plain と polite を覚えると話す。

6 話題は (主語が) です。

話題は (主語が) ですか？

疑問文を作るには、(丁寧な)肯定文の文末に「か」を置くだけでよい。

7 名詞1 + の + 名詞2

名詞2が話者の焦点で、名詞1は、名詞2がどのようなものであるかを説明する部分。

Please note that the preceding noun modifies the following noun.

文法説明と練習

1 自己紹介名詞文 (P24)

板書 (は) です。

(は) ですか？

(は) ではありません。

じゃありません。

じゃないです。

否定文は三種類あるので、いいやすいものを選んでもらう。

An affirmative noun sentence ends with desu. Japanese noun negative sentence has three patterns, which are dewa arimasen, ja arimasen and ja nai desu. Their meanings are the same, but the politeness is a bit different. Look at the explanation in on page 24. You can choose any of them.

それぞれ文法説明、例文を読み、口頭QA練習。

自己紹介の際、「の」の機能 (P26、3) を読み、練習に加える。

(例：A Zの教師です)(例：アメリカの会社です)

2 疑問詞疑問文のつくりかた (P24)

Please put ka at the end of a sentence. Then you can change it into a question.

'Ee, soo desu' is an affirmative answer. 'Iie, chigaimasu' is a negative answer. When you

deny what is said, please add a correct answer after 'lie, chigaimasu'.

For example, 'Amerika-jin desu ka?' 'lie, chigaimasu. Ijirisu-jin desu'.

聞きたいことを、疑問詞に置き換えるだけ。語順は変えないことを説明。教師に質問する練習。

疑問詞（何、どこ）や「私」「あなた」は、言わなくても文脈からわかる場合は省略することを確認。

板書 は（なんですか）？
 は（どこ/どちらですか）？

3 丁寧の接頭辞「お」（P25）

自分のことを話す時はつけないことを説明。

自己紹介、他己紹介のロールプレイ。

P30のドリルは、重複している部分を線で消し、残った部分を日本語に訳すという指示で練習させる。

As for Mr. Tanaka, ~~he~~ is (occupation).

*ここでは he と Mr. Tanaka が同じものを指すので、重複して出てきた he を消す。

3課（2時間）最重要課題 疑問詞疑問文の形を理解する

KEYS 8 日本語には名詞の複数形がない。

9 英語は、「数 + 名詞」の順。 two bottles of beer

日本語は、「名詞 + 数 + 数助詞」の順。 ビール 2 本

文法説明と練習

1 疑問詞の疑問文（P34）

板書 （ は）なんじですか？
 （ は）なんがいですか？
 （ は）なんにんですか？
 （ は）いくつですか？
 （ は）なんさいですか？

When you answer these QW questions, the answer is 'number + counter desu'. Please look at chart 4 on page 335 and chart 9 on page 338. Counters vary depending on what kind of items or things you talk about.

教師が言い、学生リピート。

2、3 指示語と数（P34-35） 場所の指示語の語彙カード用意

カードを使って、日本語から英語を言う練習、英語面を見て日本語を言う練習。

各課の進め方の具体例

*数について、ここでチャート3 (P334)を見ながら確認する。

売り場を聞く練習。(チャート4 P335)

人数、年を聞く練習。

は何人ですか？

は、いくつですか？

は、何歳ですか？ (家族の呼称確認。チャート2 P333)

時刻・時間を聞く練習。

何時ですか？

は何時から何時までですか？

疑問詞疑問文は、「聞きたいことを疑問詞に置き換えるだけ。語順は変えない」と説明。

Just replace the object of the question with doko, nani or other question words to make a QW question.

身近な例を使ってお互いに質問しあう。

例：銀行の営業時間、レッスンスケジュール、子どもの人数など

コラム1 (P39-40) (1時間) 最重要課題 **レストランやカフェで注文できるようになる**

カフェ・レストランなどのメニュー、会話の流れの絵カード用意。

教師が店員、学生が客の役。ひととおり読んで、流れをつかむ。

実物のメニューを使い、絵で流れを追いながらロールプレイしてみる。モデル会話と同じ流れにならなくても、一人で注文ができる形ができればOK。

店員の言葉は敬語が多く、この段階では難しいものもあるが、何を言っているか大筋で聞き取れることが大事なので、ノーマルスピードで教師が言って、聞かせる。

4課 (3時間) 最重要課題 **疑問詞の整理。指示語の整理**

KEYS 10 日本語には、その位置によって2種類の this がある。

This is my pen. これは私のペンです。

This pen is mine. このペンは私のです。

文法説明と練習

1,2 疑問詞 (P44)

板書 (は)いくらですか？

(は)どれ/どっちですか？

(は)だれ/どなたですか？

教師が言い、学生リピート。

各課の進め方の具体例

2 指示語 (P44) 物の指示語の語彙カード用意

場所の指示語と混乱しないように、カードで確認。

値段を聞く練習。身近にある値段のついているもの。大きな数も確認。(チャート3 P334)

複数ある中から「どれ(どっち)」を聞く練習。

* 2つのとき、くだけた言い方は「どっち」を使える。その他は「どれ」と説明。

3, 4 これ/この 使い分け (P44)

Please look at 2 on page 44. When a noun is modified by a demonstrative, such as 'this pen', the forms in the column of 'before noun' are used.

「これは ~ です」「この は~です」 言い換え練習 (サブドリル)

5 人、所有者を言う・尋ねる (P45)

板書 だれですか？

だれの +N ですか？

「もっと大きいの、ありますか？」(「もっと」と「の」の組み合わせ)

* 難しいので、表現として覚えられる学生には覚えてもらう。

You may use this no when you have already looked at a certain item and still want to know if they have another color / size and such. The item already mentioned is replaced by no.

復習ドリル1 (P50-53) (1時間)

5 課 (4時間) 最重要課題 い/な形容詞の区別を知り、活用を覚える

KEYS 11 基本の形容詞は「い」で終わる。「い形容詞」と呼ばれる。

い形容詞は、直接、修飾する名詞の前に置かれる。他に、「い」で終わらないタイプの形容詞があり、名詞を修飾するとき、形容詞と名詞の間に「な」が置かれる。「な形容詞」として知られる。

12 「い形容詞」は、それ自身、活用する。

い形容詞は、動詞と同じ文中で動詞と同じ役割(述語)を果たすので、「です」といっしょに使わなくてもよい。い形容詞の後ろに置かれている「です」は、時制を表さず、文をより丁寧にする役目をもつ。

13 名詞や「な形容詞」の後ろにくる「です」は、時制と肯否定を表す。

文法説明と練習

1 「です」の活用 (P57)

名詞文で練習。丁寧体と普通体を分けて練習。

NP represents Non-past. P stands for Past. Future and present tense are expressed in the same form as Non-past in Japanese. Both NPN and PN have two forms. You can choose either of the two.

2 形容詞の見分け方 (P57) 形容詞語彙カード、リスト1～4用意

語尾が i で終わるか否かで見分けることを説明。GENKI、KECHI などローマ字では終わりが i だが、この[i]はあくまで、仮名の「い」を指すことを注意。

Please look at the Hiragana chart on page 3. An i-adjective ends with individual 'i'. Others which end with 'a consonant + i' are not i-adjectives.

i で終わらないものを「な形容詞」と呼ぶ理由を説明。名詞を修飾する際、形容詞の後ろに「な」がつくから (例文を板書)

形容詞語彙カードを見せて、い/なを区別する練習。

3 い形容詞の活用練習 (P57) 形容詞語彙カード、リスト5, 6用意

Please look at 2- on page 15. The basic adjective sentence structure is 'topic wa + subject ga + adjective'. When the topic and the subject are the same, the subject is not said as in the table on page 57.

丁寧体 / 普通体を分けて導入。カードを使い変換練習。

* 普通体の活用を確認し、「です」が be 動詞にあたるわけではないことを説明。丁寧さを加えているだけ。テンスにも影響しない。

Please focus on desu / deshita in the polite form. I-adjective's conjugation doesn't have deshita form, which represents past tense in a noun or na-adjective sentence. Desu at the end of an i-adjective sentence expresses only politeness, but not tense. An i-adjective itself conjugates to express the past.

な形容詞の活用練習。丁寧体 / 普通体を分けて導入。カード使用。

* こちらは「です」が活用していることを説明。名詞文と同じであることを理解させる。

5 副詞 (P59)

「とても / あまり」の使い分け。短文をつくって練習。

6 課 (3時間) 最重要課題 感情の形容詞を用いる際の構文を覚える

KEYS 14 「感情の対象」は文の主語になる。

りんごがすきです。(「りんご」は話者に好かれる対象)

- 15 「-くて / -で」は、形容詞、名詞の二文をつなぎ、一文にする役割をもつ。
日本の夏は長い。 + 日本の夏は暑い。
日本の夏は長くて、暑い。
日本人は親切だ。 + 日本人は静かだ。
日本人は親切で、静かだ。

文法説明と練習

- 1 感情を表す形容詞を使う構文 (P69) 形容詞語彙カード、リスト7用意

板書 topic wa + target of a feeling ga + adjective of a feeling

* 「好き」「嫌い」は感情なので、日本語では形容詞として扱うことを説明。説明を読んでもらい、理解を促す。

We will learn adjectives which express a feeling, feature or attribute of something or someone in this lesson. Some of English verbs are expressed using adjectives in Japanese. For example, 'to like' is suki and 'to want' is hoshii. Both of them are adjectives in Japanese. Direct translation of them is 'to be likable' and 'to be wanted'.

The sentence structure here is different from the one in Lesson 5. In lesson 5, we learned the structure in which the topic and the subject are the same and the subject is not said. As for the structure in this lesson, the topic and the subject aren't the same and both of them should be said.

形容詞リスト7の語彙カードを使い、構文にあてはめた短文づくり練習。

- 2 topicの特徴や属性を表す構文 (P70) 形容詞語彙カード、リスト8用意

上記1と同じ構文を使うことを説明。

The same structure in Grammar Note 1 is used to express feature or attribute of something or someone.

形容詞リスト8の語彙カードを使い、構文にあてはめた短文づくり練習。

- 3 形容詞の接続形 (P70)

い / なの違い説明。既習の「と」「そして」との違い確認。

「と」 名詞と名詞の間 「そして」 文と文の間

You can use to to connect a noun and another noun. You can't use either to connect an adjective and another adjective or to connect adjective or noun sentences. You have to use a connective form of an adjective to connect these sentences.

Let's look at how to make the connective form.

い / な形容詞の接続形練習。カード使用。

先行する形容詞によって接続形が異なることも、しっかり確認する。

各課の進め方の具体例

家族、東京の生活、仕事など身近な題材を与えて、2つ以上の形容詞で説明してみる。

*ここで、学生が逆説的な形容詞をつなげたら、逆説の接続を説明。出てこない場合、教師の方から提示して説明。

*形容詞の定着には、絵カードを十分活用する。絵を見て正しいアウトプットができるようになるまで練習。

7課 (3時間) 最重要課題 動詞のグループ分け、ます形(丁寧形)のつくり方を理解する

KEYS 16 辞書形 = -(r)u形

すべての活用形は-(r)u形 (= 不定形) から派生する。

-(r)u形は、それ自身だけで肯定文、疑問文、答えの文になることができる。

全体が丁寧な話し方の場合でも、複文の副節内では、-(r)u形を使う。

17 動詞は uで終わる。

グループ する、来る

グループ -eru、-iru

グループ 残りの動詞

18 普通体で話すとき、疑問文に「か」はなくてよい。

19 「どこ、だれ、なに」などの疑問詞は、後ろに助詞がくる。

日本語では、疑問詞は名詞である。

文法説明と練習

1 動詞の普通体と丁寧体 (P79) 動詞語彙カード、リスト1用意

形容詞と同様、動詞文にも丁寧体と普通体があることを説明。この課では、丁寧体のつくり方と、四活用を学習することを説明。

As we learned adjectives have both of plain and polite forms, verbs also have these two. You need to learn both forms because you have to choose one of them according to the situation you are in or the person you talk to. And also, there are many complex sentences for which you should use a plain form even when you speak in a formal setting.

「する」と「します」の用法の違いを、説明を読んで理解させる。

The dictionary form is a base form. All dictionary forms end with -u. All other forms are derived from it and it is also used for expressing a non-past affirmative form in casual conversation. A non-past affirmative polite form of is -masu.

辞書形を見て、どうやってグループを見分けるかを説明。G (不規則) から教え、次にGのルール、残りがGと教える。

各課の進め方の具体例

Japanese verbs are divided into three groups based on how they conjugate. Please look at the table at the bottom of page 79. The grouping is very important to create all forms which we will learn from now, because a verb conjugates according to the conjugation pattern of each group.

動詞リスト1の語彙カードでグループを分ける練習をしながら、意味も確認。

* 例外にも触れる。例外は、ほとんどが同じ同音異義語があるため、完全な例外は、この段階では「入る」「走る」のみ。

* 他の教科書で勉強していた学生の場合、丁寧体で動詞を覚えている場合もある。このときは、丁寧体からグループを見分ける方法も教える。

グループ 「-i ます」

グループ 「-e ます」 / 一音節（ひらがな1つ）の 「-i ます」
（居ます、似ます、見ます、着ます）

動詞リスト1の語彙カードを使い、ます形を作る練習。

2 ステップ 動詞のみで、文として成立できる動詞 (P80)

We classify verbs into nine steps based on markers essential for verb sentences. In this Step one, we will learn verbs which don't have any essential markers.

* 普通体の疑問文では、文末の「か」がなくてもよいと説明。

ステップ 「方向+に」を伴う動詞 (P80)

We will learn verbs which should be preceded by a destination marker ni.

疑問文のつくり方の練習。「方向・目的地」を「どこ」に置き換えるだけ。

* 口語の答えは「Noun+です」で済むことを説明。QA 練習。

P78 に戻って疑問詞と「疑問詞+か」「疑問詞+も」の、形と意味を確認。

疑問文を作って QA 練習。

ステップ 「出る場所+を」を伴う動詞 (P81)

We will learn verbs which should be preceded by a place being left marker o.

* 動詞の定着には、絵カードを十分活用する。絵を見て正しいアウトプットができるようになるまで練習。

8 課 (3 時間) 最重要課題 存在文、現象文は、「話題なし」の構文であることを理解する

KEYS 20 話者の眼前の場面・情景を聞き手に伝えるとき、「話題+は」から文を始めなくてよい。

21 「わかる」「要る」「かかる」は形容詞のように使われる。

これらの動詞の前に来る助詞は「が」。

22 物(の形状)によって、さまざまな助数詞が使われる。

文法説明と練習

ステップ 現象文 (P88) 動詞語彙カード、リスト2用意

目の前の現象を聞き手に向けて描写する場合、「topic+は」が不要であることを説明。
(P17 に戻って確認する)

As we learned in lesson 1, you don't need to bring up a topic when you describe a status in front of you.

* 「行く」「来る」は日英で概念が違うので、Note で確認する。

ステップ 存在を表現する文 (P88)

iru is used for animate beings and aru is used for inanimate objects. When you describe the existence of something or someone, it becomes the subject of the sentence. The equivalent English sentence would be 'Something / someone exists.'

You can use iru / aru to express ownership and the existence of an event as well.

ステップ 存在を表現する文に数を加える (P89)

数の位置に注意。

* P89 のコラム及びチャート 9 (P338) を参照しながら助数詞を確認。いろいろあるので、必要性の高いもの、興味のあるものを中心に覚えれば可。(必須：人、回、- つ)

Each item has a specific counter as you saw in lesson 3, for example, ordering items, telling the floor and such. The major ones are in the square on page 89. Please see page 338 for more counters. It is hard to remember everything, let's memorize ones you would like to know or you need for now.

絵を見て存在文をつくる練習。

ステップ 「わかる」「かかる」「要る」は形容詞と同じ扱い (P89)

These three verbs need an element which expresses the target of them, which is followed by ga. This is the same as the adjective structure which we learned in lesson 6.

9 課 (3時間) 最重要課題 **他動詞は「目的語 + を」が必要であることを理解する**

KEYS 23 「行く場所 + に / へ」「人や物が存在する場所 + に」「何かを行う場所 + で」

24 話の焦点が「為される物事」にあるとき、自動詞が使われる。焦点が「それをする人」にあるとき、他動詞が使われる。

25 「あまり」「全然」は否定文の中で使われる。

文法説明と練習

1・2 目的語と他動詞 (P97) 動詞語彙カード、リスト3用意
説明を読んで理解する。他動詞と自動詞の使い分けも理解させる。

Please understand the difference between transitive verb and intransitive verb.
A transitive verb needs an object which you act on. The object is marked by o.

3 ステップ 他動詞文 (P98)

「目的語+を」が必須であることを説明。

* 自動詞と比較し、性質・用法の違いを理解する。(P98 コラム)

ステップ 「入れる場所・物+に」「出す場所・物+から」を伴う動詞文 (P98)

* 「入る」「出る」との違いや、目的語が物の場合と生き物の場合の訳の違いにも着目。

ステップ 修飾部を増やし、文を長くしていく (P99) 名詞絵カード用意

We have learned many elements and markers. Let's practice making a longer sentence using verbs and those elements.

絵カードを使い、各要素を組み合わせて文をつくる練習。チャート7 (p336) 参照。

* 「目的語+を」は関係が強いので、間にほかの語を挟まないで続けることを説明。

コラム2 (P104) (0.5 時間) 最重要課題 **基本的な副詞を覚える**

余裕があれば、副詞リストも見てみる。(P327-331)

復習ドリル2 (P105-107) (0.5 時間)

10 課 (5 時間) 最重要課題 **誘いの表現の一連の流れを覚える**

KEYS 26 「-たい」は願望を表す。この表現は直接的なので、子どもっぽく聞こえる場合が多い。後ろに「と思います」をつけることによって、子どもっぽさを軽減できる。

文法説明と練習

1 「目的+に+移動の動詞」の文 (P110)

行った場所、行く場所を聞き、その理由を聞き、それをまとめる短文づくり練習。

2・3 誘う表現、応え方、断り方、待ち合わせの詳細 (P110)

丁寧体・普通体があるので、どちらを主体にやりたいか確認。

* 普通体は活用を覚える必要があり、負荷があるので、理解のいい学生、意欲のある学生にはよいが、自習時間がとれないような学生には、まず丁寧な表現を勧める。

The expression related to invitation also has the plain and polite forms. You may study either of them if two different forms are too much for now. Of course you can try both of them because they are useful in different situations.

会話を縦軸で進めていく。(「丁寧」を選んだら「丁寧」で進めていく。丁寧体と普通体を混ぜない)

音読。教師と学生で、誘う側・誘われる側のロールを交替しながら。

The invitation in polite conversation is *-masen ka?*

'Let's form' expresses the speaker's intention for doing something. In Japanese it is *-mashoo*. You can use it when you already agreed with what to do.

普通体をやる場合 動詞語彙カード、リスト1～3用意

* 「ない形」「意向形」の活用練習。動詞リスト1～3の中で、よく使う動詞を選んで練習。(例：食べる、飲む、する、見るなど)

The invitation in casual conversation is *-nai?* Let's look at how to create *-nai* form.

For group three, please remember one by one. For group two, remove *ru* and put *nai*. For group one, change *-u* at the end to *-a*, then put *nai*. Be careful with double vowel like *au*. In this case 'w' must be inserted before *-a*.

Let's look at how to create 'let's form'. For group three, please remember one by one. For group two, remove *ru* and put *yoo*. For group one, change *-u* at the end to *-o*, then put another *o*.

普通体をやらない場合

* 必要ないと思う人でも、「行かない?」「しよう」などの表現はよく耳にするはず。活用のルールは覚えなくても、よく聞くものは表現として覚えたほうがいと説明。

We often speak in the casual style when we invite our friends or family to do something together, so you might hear a lot of casual expressions. Even if it is hard to use these expressions, trying to catch what is said would be useful.

4 希望・願望の表現 (P113)

具体的な「もの」や「時間」「仕事」は「ほしい」を使う。

動作、やりたいことの場合は「-たい」を使う。

You should use *-tai* when you express your desire to do something. *Hoshii* means 'to want something (noun)' which is basically a tangible / physical thing.

「-たい」は、形容詞と同じ活用。基本動詞で活用練習。

Hoshii and -tai have the same conjugation pattern as an i-adjective. Please look at the tables on page 113.

ほしいもの、したいことを言い合う QA 練習。

コラム 3・4 (P121-123) (1時間)

最重要課題 電話の決まり表現、飲み物を勧める決まり表現を覚える

電話の表現は、携帯電話の普及により不要の人もいるので、必要な場面を選んで練習。電話の会話、飲み物を勧める会話のロールプレイ。

11 課 (4時間) 最重要課題 動詞のて形の用法、つくり方を理解する

KEYS 27 動詞のて形

動作や状態をつなぐ。 依頼を表す。

文法説明と説明

1 て形の意味とつくり方 (P127) 動詞語彙カード、リスト4用意
便利で大事なフォームなので、がんばってマスターするように励ます。

Te-form is one of verb forms and it has several functions. You can use it when requesting, offering and gently ordering someone to do. We will learn the other functions later.

辞書形を見て、どうやってて形を作るかを説明。G (不規則) から教え、次に G のルール、残りが G と教える。

How to make te-form depends on the group which the verb belongs to.

For group three, please remember one by one. For group two, remove ru and put te.

Be careful with verbs in group one. There are five patterns of making te-form. Let's look at the table on page 127.

Verbs ending with -u, tsu and ru are in the same group. -U, tsu, and ru turn into -tte.

Verbs ending with mu and bu are in the same group. Mu and bu turn into nde.

As for a verb ending with ku, ku turns into ite. As for a verb ending with gu, gu turns into ide. As for a verb ending with su, su turns into shite.

動詞リスト4の語彙カード(「て形」71番まで)でて形をつくる練習。はじめは同類のものをまとめてやり、慣れたらグループをまぜてカードを出す。

* 「聞いて」「来て」「切って」「着て」などの聞き取りはととも難しい。音が聞き取れないと、何を要求されているかわからないので、この聞き取りの練習は集中してやる。

各課の進め方の具体例

P128、て形の機能を読み、理解させる。(例文も「て形」のみ。「ない形」は後で)
* offer のときだけ「どうぞ」がつくことを理解させる。(聞き手にとって利益のあることを勧める際、「どうぞ」をつけると説明)
動詞リスト4の絵カード(「て形」71番まで)を見て、「～てください」を言う練習。

2 ない形の意味とつくり方 (P127)

ない形は普通体。丁寧体と比較すると、「～ません」にあたることを説明。
辞書形を見て、ない形の作りかたを説明。(10課で扱っているが、活用練習はあまりしていないので、ここでしっかりやる)*英語解説は10課参照。
動詞リスト4の語彙カード(「ない形」72-82番)でない形をつくる練習。はじめは同類のものをまとめてやり、慣れたらグループをまぜて。

3 要求・依頼・促しの表現 肯定文・否定文 (P128) 場面のわかる絵を用意

場面を設定し、「～て/～ないで ください」を言う練習。

*「ください」=pleaseという感覚があると、「ください」なしでは横柄すぎると感じる学生がいるが、日本語では、親しい間ではつけないほうがむしろ普通であると説明。

We usually don't place kudasai at the end when we ask our friends or family to do something. It doesn't sound rude or arrogant and it is very common to ask someone to do without kudasai in casual settings.

12 課 (3時間) 最重要課題 て形の列挙によって、動作の順序を表現できることを理解する

KEYS 28 文末の「～んだ/の/～んです」

聞き手の答えを引き出す。話し手が、その話題に興味があることを示す。

文法説明と練習

1 て形の機能「動作の順序列挙」(P135)

動詞語彙カードリスト5、基本動詞絵カード適宜用意

When you mention two or more actions in sequential order, please use te-from. This te includes the meaning of 'and,' so you don't have to put to between two verbs.

絵カードを適宜並べ、順序列挙で話したり、学生の生活について、順序列挙で話す練習。

*動作の前後関係を強調したいとき、特に順序を間違えると機能しなくなる事柄については、「～てから」の形を用いるを説明。

2 やり方・行き方などを聞く (P135)

「どうやって～んですか?」をパターンとして覚える。「～んです」の意味については、P135の説明を読んでもらう。

Dooyatte -masu ka? is grammatically correct. But it sounds a bit unnatural. If you want to let the listener know that you are interested in the issue, using -n desu ka? is more natural. Colloquial male expression is -n da? and female expression is -no?

* 「～んです」は四活用のあとにつくことができるが、ここでは現在形に限って練習。
やり方・行き方を聞く口頭 QA。

3 理由を話す構文 (P136)

日本語では、「理由」が先に来るのがふつうと説明。

When you state something with a reason or cause, the reason or cause comes first in Japanese. You can't start a sentence with *kara* = 'because'. *Kara* comes after the sentence which expresses the reason.

教師が学生の生活について「どうして」の質問をし、答える練習。

* この時点ではまだ「どうして」を学習していないので、why = どうして、と教えてから上記の練習に入る。また、理解のいい学生であれば、「どうして、と尋ねる場合は、もちろん好奇心があるときだから、文末に - んですか? を使ったほうがよいですね」と説明し、「どうして～んですか? 」と質問できるとなおよい。

13 課 (4 時間) 最重要課題 「- ている」の形の用法・機能(「進行」の相)を理解する

KEYS 29 て形は進行の相を表す。

ている (現在進行形)

ている (現在完了進行形)

文法説明と練習

1 動詞の性質から見た種類分け (P143)

* 継続動詞。瞬間動詞。状態動詞。なかには使われる場面によって複数の意味を帯びる動詞もあることを説明。状態継続、継続瞬間など

Verbs are divided into three types in terms of semantic classification. They are continual, punctual and stative verbs. Many of verbs are classified in the continual or punctual verbs. Some can be categorized in multiple types depending on the context.

例 1 要る ・今、お金が要る。(状態)

・事故以来、母はずっと杖が要る。(継続)

例 2 開ける ・今、ドアを開けている。(= 開けつつある)(継続)

・ 5 分後に、ドアを開ける。(瞬間)

2 「- ている」の機能 (P143) 動詞語彙カード、リスト 6 , 7 用意

You can express various aspects of an action with *-te iru*.

各課の進め方の具体例

継続動詞のて形+いる 継続的動作・状態の進行形を表す

瞬間動詞のて形+いる 瞬間動作の結果の状態を表す

* 時間軸の線を描いて説明するとわかりやすい。

「知る」「知っている」使い分け説明。

主に「-ている」の形で使われる動詞について説明。

* 自動詞を用いた、結果の状態を表す「-ている」もここで扱う。(現象文の「が」を再確認する。P17) 身近な現象を言わせる練習。

例：電気がついている。 ドアが開いている。

コラムで「行く」のいろいろな意味説明。(P145)

継続または瞬間動詞の「て形+いる」 一定期間、習慣的に繰り返される動作

When you express a habitual action or repetition of an action, please use -te iru sentence. It emphasizes that you do it intentionally with a kind of effort.

動作・状態の未完了を表す「-ていない」

It implies that it will happen later.

口頭 QA。(学生の生活や、身近に見えるものなどを活用して質問する。質問してもらう)

* 学生がやっていないと思われることを質問し、「まだ-ていません」を導く。

復習ドリル 3 (P151) (0.5 時間)

14 課 (4 時間) 最重要課題 授受の概念を理解し、「-てもらう」「-てくれる」をマスターする

KEYS 30 日本語には2つの give がある。

あげる = 一般的(受け手は話者以外)

くれる = 特別(受け手が話者または話者側の場合)

31 話者が好意(による動作)を受けることを表す言い方が2種類ある。

てくれる = 行為が行為者の自発的なものである場合

- てもらう = 行為が、受け手の依頼によるものである場合

32 「-てあげる」は、行為者が好意を押し売りしているように聞こえる可能性がある。

目上の人に申し出る場合には使わない。代わりに、「-しましょうか?」が使われる。

文法説明と練習

1 やりもらいの概念と構文 (P154) 動詞語彙・絵カード、リスト 8 用意

例文読み。意味を理解する。

We have two ways to express 'to give'. Ageru means 'to give' and kureru means 'to give me'. When you use kureru, the giver must be the subject of the sentence.

If you are a giver, watashi is the subject and ageru is used.

「もらう」の用法を理解する。

Morau means 'to receive'. The receiver must be the subject of the sentence. When you give something to someone, just use an ageru sentence whose subject is watashi.

リスト 8 絵カード (130 番まで) を見て短文を作ってみる。

2 行為のやりもらい (P155)

音読して意味理解。授者が「私」の場合、受け手が「私」の場合と、それぞれ「私」と行為の関係について意識させる。

You can use these sentences to express giving and receiving a favor with a te-form of a verb. When you or someone does a favor to another person, you can describe the situation with -te ageru.

「-てあげる」「-てもらう」主語をスイッチして文を作る練習。「てもらう」は、頼んでその行為をしてもらう場合に使うと説明。「-てくれる」は、自発的な感じが強い。

When you or someone receives a favor from another person, you can describe the situation with -te morau. -Te morau and -te kureru can describe the same situation when you are the receiver. However, -te morau sounds like you receive the favor in response to your request and -te kureru sounds like you receive the favor thanks to the giver's goodwill.

3 「-てあげる」「-てくれる」の中の、目的語「を」の用法 (P156)

通常は、人は「に」でマークされるが、「(人)を送る」「(人)のかばんをもつ」など、人そのもの、または人の持ち物が行為の対象になる場合、「を」でマークされると説明。

Please be careful with sentences using o to mark a person. The person is considered as the object of the sentence in this case.

コラム 5 (P163) (0.5 時間) 最重要課題 相手によって頼みごとの表現を変えられる

頼みごと、相手を設定し、会話のロールプレイ。

* 丁寧さの度合いの違いに着目し、どのレベルがその学生にとって有用かを意識して行う。

15 課 (4 時間) 最重要課題 許可、禁止、義務、義務なしの表現をマスターする

KEYS 33 義務は(直接の表現がなく、)2つのフレーズをつなげて表す。

第一フレーズ = もし、私 / あなたが をしなかったとしたら

第二フレーズ = それは受け入れられない

だから、私 / あなたはそれをしなければならぬ

34 義務なしは(直接の表現がなく、)2つのフレーズをつなげて表す。

第一フレーズ = たとえ、私 / あなたが をしなかったとしても

第二フレーズ = それは受け入れられる

だから、私 / あなたはそれをしなくてもいい

文法説明と練習

P166 上部の表参照。この4つの表現を習うと確認。

We have four sentences to express permission and prohibition. Let's check the following explanations.

1 許可の表現 (P166) 動詞語彙カード、リスト9用意

構文と例文を読んで意味を理解させる。丁寧な言い方とカジュアルな言い方あり。

-Te mo ii means *'it is okay to do'* and you can use it when you give permission.

質問の仕方、答え方がわかったあとで、QA練習。ロールを交替して行う。

2 禁止の表現 (P166)

構文と例文を読んで意味を理解させる。

-Te wa dame means *'it is bad to do'* and you can use it when you prohibit someone from doing something.

「-ちゃ形」つくり方練習。語彙カード使用。

* カジュアルなので、要らないという人には紹介程度でよい。しかし、街中でよく聞く表現なので、意味を理解できると便利と説明。

「だめ」=「いけません」の関係及び語義的意味を説明。(P167 上部 Note 参照)

質問の形と答えを読んで理解。QA練習。ロールを交替して行う。

* 「禁止」は強いので、用法に制限があることを説明。(P167 中ほど Note 参照)

3 義務なしの表現 (P167)

構文と例文を読んで意味を理解させる。

-Nakute mo ii means *'it is okay not to do'* and you can use it when you explain there is no obligation or duty.

「-なくて形」つくり方練習。語彙カード使用。

質問の形と答えを読んで理解。QA練習。ロールを交替して行う。

4 義務の表現 (P168)

構文と例文を読んで意味を理解させる。日本語には must に直接あたる単語がないため、二重否定構文によって、強い義務を表す。Note を読んでそれを理解させる。

-Nakute wa dame means 'it is bad not to do' and it implies 'so you have to do it'. You can use it when you explain an obligation or duty. The listener would understand what is ordered by this sentence. Let's read the note on page 169.

「-なくちゃ形」つくり方練習 (語彙カード使用)

* カジュアルなので、要らないという人には紹介程度でよい。しかし、街中でよく聞く表現なので、意味を理解できると便利と説明。

質問の形と答えを読んで理解。QA 練習。

* 「-ないとはいけません」などのバリエーションにふれる。(P167 上部 Note 参照)

16 課 (2 時間) 最重要課題 行動例をアランダムに列挙する表現、助言の表現をマスターする

KEYS 35 「-た形」は、過去時制と完了の相を表す。

文法説明と練習

1 「た形」の意味とつくり方 (P178) 動词语彙カード、リスト 1 ~ 9 適宜用意
作り方は、「て形」から変換できるので、難しくないと説明。

使い方は「過去」と「完了」があることを説明。「完了」がよくわからない場合、P79 に戻り、説明や例文を読んで理解させる。

Ta-from has two functions. One is the plain form of -mashita, which expresses the past tense in a simple sentence. The other is the complete aspect in a simple / complex sentence.

板書 べんきょうしました = べんきょうした I studied. PAST TENSE
べんきょうしたあとで、あそびます。 I will have fun after I have finished studying. COMPLETE ASPECT

2 行動の列挙の言い方 (P178)

例文読み。意味を理解する。て形との違いを理解させる。

When you list a couple of actions, -ta-ri -ta-ri suru is used. Ta-from in this sentence expresses the complete aspect and the tense of a whole sentence is shown at the end of the sentence by choosing suru or shita. It is not used for listing common or routine works such as 'brushing my teeth' or 'washing my hands'.

Please note that there is a difference between -te, -te sentence and this sentence. Let's look at Gn-1 on page 135 as a review.

自分の行動を話す練習。きのう、週末など、キーワードを与えて話してもらおう。

助言の表現 (P179)

例文読み。意味を理解する。た形、ない形2つの方法を理解させる。

Ta-form is used to make affirmative advice. Ta-form expresses the complete aspect in this case.

助言をする練習。状況を与え、それに対して助言してもらおう。「～から」と理由もいっしょに言う形で練習すると、複文学習に入る助けにもなる。

17 課 (4 時間) 最重要課題 **丁寧体、普通体を対照して理解する**

KEYS 36 形容詞から副詞を作る方法

い形容詞 あつい あつく な形容詞 げんき 元気に

文法説明と練習

1 普通体・丁寧体の整理 (P186)

As we learned, we have four forms of both plain and polite styles. Let's confirm and review these forms of verbs and adjectives.

動詞、形容詞、語彙カードを適宜用意し、四活用の練習をする。

Please remember that a dictionary form and plain forms are different. A dictionary form is one of four forms of plain style and expresses plain non-past affirmative. If you say "plain forms," it indicates the all four forms.

* 「なかつた形」は、「ない形」から作ることを説明。

You can make -nakatta form from -nai form.

表現も、普通体・丁寧体を比較して確認する。(p187)

2 普通体の会話 (P187)

どんな相手、どんな場面で、普通体で話すのかを確認し、例文読み。

We prefer using plain forms when we talk with our friends or family. You may drop markers if there is no possibility of confusion in casual conversation.

Please be careful with the ending. Da at the end is equivalent to desu in polite conversation though, it often drops. Or you may use it with yo or ne.

教師と普通体で話してみる。丁寧と普通のスイッチの練習。

3 形容詞からつくる(変化の)副詞 (P189)

例文読んで作り方理解させる。絵などを見て、文をつくる練習。

Let's make adverbs from adjectives. An adverb is used with a verb. For example, if you use an adverb with naru (to become), you can express the natural change of the

state of something. If you use an adverb with suru, you can express the change of the state of something which is done intentionally by someone.

4 理由を聞く言い方 どうして～んですか? / ~の? (P189)

P135 - 2 に戻り、「～んです / ~の」の用法を確認。「どうして」と聞くときは、もちろん興味があるときなので、自ずと「～んです / ~の」との組み合わせになることを説明。

As we learned in lesson 12, *-n desu ka?* is used when you want to show your interest to the listener. When you ask the reason using “dooshite,” you are probably driven by your curiosity or interest. So please use *-n desu ka?*

Colloquial male expression is *-n da?* and female expression is *-no?*

いろいろなことの原因を聞き合う練習。プライベートな話題に注意し、たとえ話でよいので、いろいろ楽しんでみる。

復習ドリル 4 (P196) (0.5 時間)

コラム 6 (P197) (0.5 時間) 最重要課題 形容詞を使ったいろいろな表現を覚える。

形容詞語彙・絵カード、リスト 12 用意

形容詞リスト 12 の学習(P197)

絵カードを見て、表現を言ってみる練習。

18 課 (3 時間) 最重要課題 必須条件と必然結果の関係を表す構文を理解する

KEYS 37 複文

(主語 2 + 動詞 2 / 形容詞 2 / 名詞 2 + だ) + 接続詞 + (主語 1 + 動詞 1 / 形容詞 1 / 名詞 1 + だ)

38 A と、B もし A が起きれば、B は必ず起きる

文法説明と練習

1 複文とは何か (P200) 動詞語彙カード、リスト 10 用意

例文、説明を読んで理解する。

We learned only simple sentences so far, which are composed of a topic, a subject and a verb or an adjective. From this lesson, we will learn complex sentences which have a main clause and a sub clause. Each clause has a topic, a subject and a verb or an adjective and the verb and adjective in the sub clause are basically a plain form.

2 「～と、～」の構文 (P200) ある条件下で必ず同じ結果になる現象を述べる構文

You can use this sentence to express a theorem, nature related fact or an instruction

of machine usage and so on. The same result is triggered under the same condition.
The condition is marked by to. Please remember this to as a trigger.

主節・副節の組み合わせが、肯否定四種類あるので、それぞれに分けて読んでいく。読んで、短文を作る練習。(条件を与え、結論をつくる練習)

* 英語の訳が、if、when、unless と状況によって変わる。複文レベルになってくると、逐語訳が難しい場合も増えるので、こだわらずに全体で意味を把握するように指導。

(P201) 二重否定文によって、さらなる行為を暗に期待することを説明する。

When we use double negative structure, it implies expectation for a further action.
Let's look at the column on page 202.

(P201) ある要素を、話題として取り立てる形を理解する。「話題 + は」

コラム(P202) 先に学習した義務の表現 (P168) があるが、「～と、～」の形も、同様に使えることを説明。義務の表現は複数あるので、ここで整理する。

19 課 (3 時間) 最重要課題 未完了の「-ru」、完了の「-ta」を理解し、動作の前後関係の表現、習慣・経験を述べる表現を覚える

KEYS 39 -(r)u 形

単文 非過去時制 複文 未完了の相

40 た形

単文 過去時制 複文 完了の相

文法説明と練習

1 完了・未完了の概念 (P211) 動詞語彙カード、リスト 10 用意

Complete aspect doesn't mean the past tense as we learned in lesson 16. Let's look at the examples here. The tense is decided by the end.

例 1 勉強したあとで、遊びます。

例 2 勉強するまえに、遊びました。

2 動作の前後関係を述べる (P211)

例文、説明読み。「-たあとで」と「-てから」の違いにも触れる。(厳密な差は難しいので、触れる程度でOK)

You can use -ta ato de for events which you cannot control the order of their occurrence. If you can decide or arrange the order of two actions, -te kara is usually used.

絵などを見て、前後関係を言う練習。生活の中の動作の前後関係を言う練習。

3 習慣や経験を述べる (P211)

例文、説明読み。それぞれ接続のパターンを覚える。

* いっしょに使う副詞を紹介し、文にとりいれると、より自然な日本語になることを説明、使用を勧める。(P329 - 5 参照)

習慣や経験について話してみる。

* 「ないことがある」は、「普通～しますが、ときどき - ないことがある」の形で練習。

* 「経験」を述べる時のパターン、不自然な場合を理解させる。

When you talk about your experience, please list something special or unusual. You can express it with an adverb of frequency or a certain time in the past such as ~nen mae ni. When you want to mention an event you recently experienced, please simply use a past form.

20 課 (3時間) 最重要課題 **動作・現象の連鎖を表す表現、仮定条件を表す表現をマスターする**

KEYS 41 A - たら、B B は A に続いて起きる

文法説明と練習

1 完了の概念の確認と、動作・現象の前後関係を述べる言い方 (P220)

動詞語彙カード、リスト 11 用意

説明読み。「 - たら、～」は「た」の動作・現象が完了したあとに、「～」が起きることを理解させる。

We learned the 'A to, B' sentence in lesson 18. It means the same condition brings the same result. Here we have the 'A-ta-ra, B' sentence and it's result B is not always the same. The results vary depending on the person or situation.

文全体の時制で分けて、例文を読みながら構文を理解する。

前件(ます形の単文で与えて、「 - たら」に変換させる)を与えて、文をつくる練習。

(P220) 後件が過去形の場合は、予期せぬ出来事について説明していると説明。

When you want to mention an unexpected thing that you didn't discover until you did an action, please use 'A-ta-ra, B-mashita'.

「 - たら」の裏返しとして、「 - でも」が存在すること理解させる。

'A-ta-ra, B' indicates a smooth connection of two actions or events. If you feel something controversial between a condition and a result, please use 'A-te mo, B'.

「 - たら 」と同様の練習。

2 動作の前後関係を述べる (P221)

仮定条件を述べる。チャートを見て、形の確認。動詞、形容詞、名詞

You can use this sentence as the conditional.

* 「 - た 」は過去、と覚えていると、未来のことを仮定する文に 「 - たら 」を使うのに違和感を覚える学生もいる。しつこく、完了の概念を説明する。

This -ta doesn't mean the past tense, but complete aspect. Please be careful with forms of desire expressions and adjectives.

「もし」「たとえ」の使い方、理解させる。

仮定を与え、文をつくる練習。(サブドリル)

コラム(P222) 実際に起こりうる仮定と反実仮定の説明。英語ではテンスが異なるが日本語では同じ。軽く触れる程度でOK。

3 助言を求める (P222)

例文、説明読み。パターンを覚える。

Direct translation of Doo shita-ra ii desu ka? would be 'How / What is good to do?.'

21 課 (4 時間) 最重要課題 **意見、願望、推量を表す表現をマスターする**

KEYS 42 ~と思う/思います は、話し手の感情や判断の後ろに置かれる。

意見 予想 希望

文法説明と練習

1 推量、意見、願望を述べる言い方 (P230) 動詞語彙カード、リスト 12 用意
説明読み。「話題」の助詞「は」の使い方を確認する。

Let's look at 'I think ~' sentence. The main clause is 'I think'. The sub clause is '~' (=what you are thinking). The sub clause is sandwiched between 'I' and 'think'. But as you knew already, we don't say watashi when it's obvious. So the subject of the sub clause sentence usually becomes the topic of the whole sentence.

否定文のつくり方、英語との違いに注意させる。

願望を述べる言い方で、余裕のある学生は、P113 に戻って意向形の作り方を確認して練習する。余裕がなければ、見る程度でOK。

If you finish a sentence with a let's form such as ikoo, it means 'Let's go together.'

文全体の時制と副節の動詞の時制の関係を読んで理解させる。(P231)

We don't have a rule of 'sequence of tenses' in Japanese. Let's look at examples.

2 疑問文への答え方(P231)

答え方を確認し、QA 練習。

Please be careful with a negative answer.

3 第三者が言ったことを引用する、伝える (P231)

You can use the same structure to quote what someone said. In this case, *itte imashita* sounds more natural than *iimashita*.

例文読み。教師が文を言い、それを他の人に伝えるという練習。

復習ドリル 5 (P238) (0.5 時間)

22 課 (3 時間) 最重要課題

物事を行ったり、何かが起こったりする「とき」を表す表現をマスタ する

KEYS 43 B -(r)u とき、A

A は、B が完了する時点より前に起きる。

44 B -た とき、A

A は、B が完了した後起きる。

45 B ている とき、A

A は、B が継続している間に起きる。

文法説明と練習

We will learn how to express the timing of the occurrence of an action or event. *Toki* is translated to 'when' or 'while' depending on the context.

1 後件が起きる「とき」の表し方 (P241) (形容詞、名詞、状態動詞)

例文読み。前件では厳密な時制を表さず、後件で時制が決まることを説明。

We don't have a rule of 'sequence of tenses' and an adjective or a noun sentence in a sub clause usually remains as the non-past form. Let's look at examples.

な形容詞は、「な」でつなぐ。

Since *toki* acts as a noun, preceding *na*-adjective is followed by *na*.

*先に述べたように前件には厳密な時制がないため、状態動詞の文では、全体が過去の文のとき、前件は「いる」「いた」の両方ありうる。

各課の進め方の具体例

* 動詞の否定文は、全体が過去の文でも、前件はふつう「 - ない形」で表す。

A stative verb and a negative form of a verb act like an adjective. Therefore they usually remain as the non-past form.

前件をキーとして与え、文全体をつくる練習。(キーは、い形、な形、名詞、いる、ある、と分けて出す)

2 後件が起きる「タイミング」の表し方 (P242) (動詞)

前件が辞書形の場合 (P242)

その動作・状態が未完了のうちに、後件が起きると説明。順序は「後件 前件」となる。

Before an event B has been completed, an event A happens or happened.

* 「とき」は名詞の扱いなので、後ろに time marker の「に」を伴うことができる。

前件が「た形」の場合 (P242)

その動作・状態が完了したのち、後件が起きると説明。順序は「前件 後件」となる。

After an event B has been completed, an event A happens or happened.

前件をキーとして与え、文全体をつくる練習。

前件が「 - ている形」の場合 (P243)

その動作・状態が継続している間に、後件が起きると説明。

While an event B continues, an event A happens or happened.

前件をキーとして与え、文全体をつくる練習。

23 課 (4 時間) 最重要課題 文を用いて名詞を修飾する形と、その用法をマスターする

KEYS 46 動詞や文は、名詞を修飾することができる。

どんな場合でも、修飾部は、非修飾部(名詞)の前にくる。

文法説明と練習

1 名詞を修飾する形 (P248)

名詞、形容詞で修飾する形()と、動詞(文)で修飾する形()を確認する。名詞修飾部は必ず普通体で、時制や肯否定も活用によって表せることを説明する。

We don't have a relative pronoun such as 'which' 'who' or 'that'. You may place a verb or an object + verb just before the noun to be modified. The verb should be a plain form.

文で名詞を修飾 (P248)

修飾部(=副節)の主語は「が」でマークされることを確認する。

This is a kind of a complex sentence and there are a main clause and a sub clause. The sub clause is a modifying sentence and the subject in it must be marked by ga. In this structure the topic doesn't necessarily come at the beginning because the modifying part always precedes the noun to be modified.

関係代名詞を含むひとかたまりの英語の表現を教師が言い、それを訳させる練習。

例：the book which I bought yesterday

2 「修飾部 + 名詞」の文中での使われ方 (P249)

例文と説明読み。単一名詞と同じように、文のいろいろな要素になれることを確認する。

1 の翻訳練習で作った表現を、文中の要素として文を組み立てる練習。

例：the book which I bought yesterday + was interesting.

I read + the book which I bought yesterday.

* 対訳重視の練習は基本的にはあまりよくないが、この課では、日本語と英文の構文の違いを際立たせるため（関係代名詞がない）、翻訳練習を多用する。

24 課 (3 時間) 最重要課題 動名詞、不定詞の形と用法をマスターする

KEYS 47 「動詞 + の」は動名詞を作る。

「動詞 + こと」は不定詞を作る。

両者とも、「ノミナイザー」(動詞を名詞化するもの)の機能がある。

48 「できる」は3つの概念を表すことができる。

能力 可能性 準備完了

文法説明と練習

1 不定詞、動名詞 (P257)

説明読み。英語の不定詞、動名詞にあたる日本語の動詞の形を理解させる。

There are two ways to turn a verb into a noun. They are gerund and infinitive.

基本的な不定詞、動名詞を含む英語の文を教師が言い、それを訳させる練習。

例：I like to swim.

I like swimming.

2 「名詞 + の」「名詞 + こと」の使い分け (P257)

There are some differences of nuance and grammatical usage between verb + no and verb + koto. Let's check one by one.

例文と説明読み。文法的に不正解な場合も確認。

- 例 × 趣味は料理をする「の」です。(述語)
× 子どもが泣く「こと」を聞きました。(知覚動詞の前)
* 「こと」はより一般的、「の」は、より個人的なニュアンスを帯びることを説明。
コラム(P258) 「こと」を使った表現。読んで、短文づくり練習。
コラム(P259) 「できる」のいろいろな用法。読んで、短文づくり練習。

25 課 (4 時間) 最重要課題 **比較級、最上級を表す形と用法をマスターする**

KEYS 49 日本語には、形容詞の -er、-est の形がない。

比較級・最上級は構文によって表される。

50 「ほう」は比較を表す。

「ほう」は選ばれた選択肢の後ろに置かれる。

文法説明と練習

1 比較級 (P266)

When you compare two things, people or actions, please use this sentence structure because we don't have any comparative or superlative forms of adjectives in Japanese.

説明と例文読み。名詞を比べる場合と動作を比べる場合。構文理解。「A より B のほうが ~」の形は、質問の答えとしてよく使われることを説明する。

Hoo indicates the comparative preference. Please look at the bottom of page 178. You can use this structure when you are asked your preference or comparative opinion.

2つを比較できる絵を準備し、比較の文を作る練習。自分と同僚、家族など、身近な人や国、町などを比べる練習もよい。

* 未習だが、次の練習から入るとよい。

まず、同サイズの円を描く。「A と B は同じくらい大きいです」という文を教える。

次に、異なるサイズの円を描く。「C より B のほうが大きいです」を導く。

動作の比較 (P266)

* 口語の「の」「こと」の用法に注意。あまり厳しく考えず、ナチュラルに意味が通れば、口頭では落としてもいいと教える。

You should turn a verb into a noun when you want to compare two actions though, koto or no often drops in conversation.

2 比較の疑問文 (P267)

例文読み。形を理解させる。

各課の進め方の具体例

2つを比べて聞く口頭練習。

When you answer a question, you may answer without no hoo. Even only 'noun + desu' is a correct answer in conversation.

3 「話題」を置く (P267)

例文と説明読み。構文を変えて、話題を文頭に持ってくる形を理解させる。

Let's bring up a topic at the beginning of a sentence.

1で作った文から「話題」のある文に変換する練習。

4 否定の比較文 (P268)

説明と例文読み。構文理解。

You can't use this structure when the difference of two items is obvious.

1で作った文を否定する形を練習。

コラム(P268)

5 最上級 (P269)

読み。形を覚える。

When you describe the group among which you choose an item, the group is marked by de. If the group is a collective noun or a unit of people or items, no naka precedes de.

6 最上級の疑問文 (P269)

説明と例文読み。形を覚える。

*どっち、どちら、何、どれの使い分けを理解させる。

最上級の文で質問する口頭練習。

When you answer a question, you may answer with 'noun + desu' in conversation.

復習ドリル 6(P277) (0.5 時間)